

平成27年度

# 橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料  
定員 **200名**  
申込先着順

会場

東建ホール・丸の内(東建本社3F)

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-1-33  
TEL 052-232-8070

平成27年

日時 **11/13** (金) 13:00~16:50

13:00~13:10

開会の辞

一般社団法人 日本橋梁建設協会  
会長 石井 孝

13:10~13:25

橋建協報告

広報委員会

## 第1部:技術発表会

13:25~14:05

1.頭付きスタッドを用いた  
鋼-コンクリート接合部の  
耐力評価に関する解析的研究

設計小委員会 設計部会 岑山友紀

14:05~14:15

休憩

14:15~14:55

2.ベトナム:ニャッタン橋の建設工事  
~東南アジア最大級の6径間連続合成斜張橋の建設~

海外事業展開特別委員会 滝 直也

14:55~15:35

3.寒冷地における鋼橋RC床版の  
耐久性向上対策

床版小委員会 床版技術部会 和田 均

15:35~15:45

休憩

## 第2部:特別講演会

15:45~16:45

道路機能低下に関するリスク評価に  
基づく道路構造物の耐震戦略決定

岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授  
岐阜大学 工学部附属インフラマネジメント 技術研究センター 副センター長  
倉内 文孝



16:45~16:50

閉会の辞

公益社団法人 土木学会中部支部 支部長 小室 俊二

申込方法

- ①Fax. 052-551-6446(裏面の用紙に記載)
- ②ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>  
の「技術発表会申し込み受け」まで(受付は9月下旬から)

申込期限

平成27年10月30日(金)

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 中部事務所  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅2-45-7(松岡ビル)  
(株)横河ブリッジ内 TEL 052-551-6446

継続教育

土木学会認定CPD(継続教育)プログラム  
全国土木施工管理技士会連合会認定CPDSプログラム

- ※東京地区は 10月 9日(金) 銀座プロッサムホール
- 大阪地区は 10月16日(金) ドーンセンター
- 北海道地区は 10月23日(金) 北海道経済センター
- 東北地区は 11月 6日(金) 仙台国際センター
- 九州地区は 11月27日(金) レソラNTT夢天神ホール 開催です。  
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

技術発表会(第1部)の発表原稿のPPT及び論文はホームページに掲載しますので、ご希望の方はダウンロードしていただくをお願いします。

アクセス



●名古屋市営地下鉄 桜通線・鶴舞線「丸の内」駅下車  
1番出口より徒歩1分

橋台部ジョイントレス構造の鋼桁

2

### 3 寒冷地における鋼橋RC床版の耐久性向上対策

寒冷地における道路橋RC床版は直接荷重を受けるだけでなく、凍結融解、水や塩化物の浸入など、様々な環境作用を受けることから、橋梁部材の中では損傷事例が多く、その補修工事が橋梁の維持管理コストの大半を占めている。特に東北地方の復興道路は、一時期に集中して整備が行われるため、同様の補修工事が集中しないよう高耐久性のRC床版が求められている。

そのような背景から、当協会既刊資料の「RC床版施工の手引き(平成22年版)」を補完する資料として新たに「鋼橋RC床版施工手順書」を取りまとめた。ここでは、手順書本文より寒冷地における劣化事例として凍害、塩害、疲労、および鋼橋の構造特性に対する配慮不足や施工上の不具合によるものを示すとともに、これらに対する最新の知見と施工時に注意すべき項目を紹介する。加えて、手順書で示した耐久性向上対策を取り込んだ実物大の試験体の実験結果を報告する。

#### 特別講演会

### 道路機能低下に関するリスク評価に基づく道路構造物の耐震戦略決定

倉内 文孝

岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授  
岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 副センター長

#### 一略歴一

- 1992.3 京都大学工学部交通土木工学科卒業
- 1994.3 京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻修士課程修了
- 1994.4 京都大学工学部交通土木工学科助手
- 2008.4 岐阜大学工学部社会基盤工学科准教授
- 2008.7 岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター 総合リスクマネジメント技術研究室 室長(兼務)
- 2012.6 岐阜大学工学部社会基盤工学科教授
- 2015.4 岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 副センター長(兼務)

#### 一委員会等活動一

- ・日本都市計画学会 会長アドバイザー/中部支部幹事(2014-)
- ・交通工学研究会研究委員会副委員長(2015-)
- ・Associate Editor, Transportmetrica B: Transport Dynamics(2013-)
- ・社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニット運営協議会幹事会 委員(2008-)
- ・岐阜市総合交通協議会 委員(2009-)
- ・岐阜県公共交通協議会 委員(2011-)
- ・岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会 観光振興・まちづくり部会 部会長(2014-)
- ・岐阜県社会資本メンテナンスプラン検討委員会 作業部会 委員(2010-2013)
- ・中津川市都市交通マスタープラン策定委員会 副委員長(2013-)その他岐阜県内都市計画審議会、地域公共交通会議など

#### 講演概要

大規模地震災害発生時における道路構造物の損傷の影響は、ネットワーク機能の低下や孤立集落の発生など広範囲に及ぶ。本講演では、橋梁・道路斜面・盛土の3種類の構造物の重要度について、地震生起確率と構造物破壊による機能障害の程度との積で表されるリスクにより評価し耐震戦略を決定する方法について概説する。岐阜県飛騨圏域における適用例を示し、道路機能評価に基づく構造物の耐震戦略決定の必要性について論じる。

FAX番号:052-551-6446

平成27年度

11月13日(金)

## 橋梁技術発表会

[中部地区]

### 参加申込書

所属

団体名

所属

氏名

役職

氏名

住所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無